

## 医師たちの気候変動啓発プロジェクト 参加メンバー（※敬称略・五十音順）

**今田 由紀子** 東京大学 大気海洋研究所 気候システム研究系 准教授



東京工業大学研究員、気象庁気象研究所主任研究官などを経て、2023年4月から東京大学大気海洋研究所准教授。大気モデルや大気海洋モデルを用い、数年から数十年規模の気候変動のメカニズムなどを研究。

**佐々木 隆史** 一般社団法人 みどりのドクターズ 代表理事



滋賀医科大学卒、京都民医連中央病院、名古屋大学総合診療部研修等を経て、2013年医療生協こうせい駅前診療所を開設、病児保育室併設。プライマリ・ケア連合学会 指導医、在宅医学会専門医。2か月のワクチンから100歳の在宅看取りまで。2021年みどりのドクターズを発足し、2022年一般社団法人化。

**橋爪 真弘** 東京大学大学院 医学系研究科 国際保健政策学 教授



専門は気候変動疫学。医師、医学者。気候変動のグローバルな健康影響と適応策について研究。気候変動に関する政府間パネル（IPCC）第6次評価報告書第2作業部会第10章「アジア」にて、主執筆者としてアジアにおける健康影響について執筆。環境省「気候変動の影響に関するワーキンググループ（健康分野）」座長。

**藤原 武男** 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 公衆衛生学分野 教授



東京医科歯科大学医学部卒、同大学大学院にて医学博士号、ハーバード大学公衆衛生大学院にてMPH取得。専門は社会疫学、ライフコース疫学で子どもを中心に社会環境の健康影響の研究を幅広く展開。東京医科歯科大学ウェルビーイング創成センターを設立、気候変動を主要なテーマとして現場の課題解決にも取り組む。

**渡辺 知保** 長崎大学プラネタリーヘルス学環 教授



熱帯医学・グローバルヘルス研究科教授。保健学博士。東京大学名誉教授。専門は人類生態学。環境条件や遺伝的性質による化学物質の毒性修飾など、人間集団と環境、持続可能性と健康との関係について、環境保健・毒性学という切り口からフィールドとラボの両方で研究。